



## 第36回例会報告 \*通算例会回数4106回目\* (5月26日 於 今治商工会議所2階 大会議室)

## 【出席報告】

・会員数 54名  
 ・当日出席率 66.70%  
 ・出席数 33名  
 ・前々回修正出席率 100%  
 ・欠席数 21名

<欠席会員>阿部、安藤、平田、廣川、神道、冠、木村、吉良、小堀、宮道、岡本、坂本、辰巳、八木(真)、矢野、米北

〔免除会員〕青野(明)、檜垣(巧)、久米、村上、渡辺(易)

<5/12欠席補填>(5/2今治北)青野(淳)、藤田、原、平田、廣川、神道、冠、小堀、河野、楠橋、桑森、宮道、中村、大澤、岡本  
 渡辺(仁)、八木(正)、八木(伸)、矢野

## &lt;次年度役員メインテーブル日&gt;

◇幹事報告・【最終夜間例会のお知らせ】6月30日(木)18時30分～最終夜間例会を笹で開催致します。

出欠は6月16日(木)が締め切り日となりますので皆様よろしくお願ひします。

・本日の例会終了後、大会議室にてパスト会長会を開催いたしました。

・大河内会員の奥様が本日より4日間小豆島にてRYLAカウンセラーとして参加して頂いています。

## 会員卓話

## ◆板脇俊匡会員

【はじめに現在の寺院の情勢について】

新型コロナウイルス感染拡大は、人口減少と若者の宗教への関心低下による檀家の減少で、ここ数年来、困難な状況にある仏教界に更なる苦難をもたらしております。20年30年後には相当数の寺院が消滅し無くなっているのではないかとされています。地方から人が減っているという現実や、仏教・先祖供養等への価値観の変化が大きな壁となり、非常に難しい問題となっています。

## 題目:『無財の七施(財がなくてもできる七種の布施)』

一般的に布施とは、葬儀や法事に際して僧侶に対して支払う謝礼のことを指しています。大乘仏教における布施は、六波羅蜜(ろくはらみつ)という求道者(菩薩)が実践する六つの修行の第一番目に説かれるもので、「布施波羅蜜」と呼ばれて重視されています。

▼布施の言語はサンスクリット語の「dana(ダーナ)」で「惜しみない」という意味で、その音写から檀波羅蜜(だんぱらみつ)とも云います。貪りを離れ、他に与え施す修行であり、仏や僧侶、貧しい人に衣食などの物資を施すことを「財施(ざいせ)」、これに報いるために仏法を説くことを「法施(ほっせ)」といいます。その布施はとても功德があり、布施によって「大なる幸福を受ける」とされています。

▼『雑宝蔵經(ぞうほうぞうきょう)』という經には、お金や物資が無くても、周りの人々に喜びを与える布施があると説かれており、それが「無財の七施」の教えです。このようなブツタの説く教えの根底には、自己中心的な執着を捨て、一切衆生を進んで愛そうとする「慈悲」の立場が貫かれています。仏道修行の末に悟りを得た人は、自分が生きているのは自分の力のみによるのではなく、多くの人たちと自然万物のおかげで生かされていることを知ります。だからこそ他人の悩みや苦しみを知り、すべての人に優しくなれるとされています。

## 【無財の七施】

- ①眼施(げんせ)…優しい眼差しで人に接する施し  
 ②和顔施(わげんせ)…にこやかな顔で人に接する施し  
 ③言辞施(ごんじせ)…やさしい言葉で接する施し  
 ④身施(しんせ)…自分の身体で出来ることを奉仕する施し  
 ⑤心施(しんせ)…他のために心を配る施し  
 ⑥床座施(しょうざせ)…席や場所、自分の地位を譲る施し  
 ⑦房舎施(ぼうしゃせ)…自分の家を提供し、人に休んで頂く施し[四国遍路でいうと善根宿のこと等]

## 【房舎施から四国遍路について】

この四国に根付く、世界に誇るべき文化遺産である「四国八十八箇所霊場と遍路道」を世界遺産に登録すべく、四国四県と関係市町村そして関係団体の皆様が、世界遺産登録に向けた取組みを実施しています。

【最後に】会員の皆様は地域社会のリーダーですから、こういう教えがあることを知り、どんどん実施して頂きたいです。皆様がお持ちの素晴らしい資質がより輝き、更には地域社会の発展に繋がっていくと思います。



## 次回例会(6月2日)

## 【外部卓話】

<会員誕生日祝> 吉武 誠治氏 (6/2) 矢野 暢生氏 (6/5)

<結婚記念日祝> 重松 宗孝氏 (6/3)

<入会記念日祝> 青野 淳一氏 (6/3) 渡邊 道信氏 (6/4) 岡本 康利氏 (6/6)

〔笹〕